

牛乳プロジェクト～組合員のつばやき～

牛乳を飲んでいますか？

この問いかけに「はい、毎日!」と答えてくださる方はどれぐらいいるのでしょうか？

昨年の総代会でサプライズ発表があつてから、ことあるごとく、お会いした組合員さんにこの質問をしてきました。

「子どもには飲ませてない」「歳をとって毎日飲んでないかな～」

「最近豆乳に切り替えちゃって」というお答えに「牛乳離れ」を感じ、牛乳の消費が減っている事を実感します。

牛乳の消費が減っている？

「こんな強烈な匂いと味なのに、お茶に入れて飲むなんて!」

牛乳を飲むイギリス人女性を目撃した明治初期の日本人の言葉
(武田尚子著「ミルクと日本人」より)

この言葉に象徴されるように、今の時代においても「牛乳が苦手」という方の気持ちを表しているのではないのでしょうか？

日本での牛乳の歴史をさかのぼると、江戸時代は薬として扱われ、飲み物として受け入れられ始めたのは明治時代からです。

関東大震災では食糧難に対して緊急配布され、戦後は児童の栄養を考えて学校給食の導入から身近な飲み物・栄養源として今日に至ります。

「牛乳は完全食品」「牛乳さえ飲んでいれば栄養が摂取できる」などの牛乳神話が生まれ、昭和時代の牛乳の消費は増えました。

しかし、消費に合わせた生産量を確保するために、栄養設計された飼料には遺伝子組み換えのトウモロコシ・農薬使用の牧草が含まれたり、搾乳量を増やすためのホルモン剤使用や、病気を防ぐための抗生物質投与など牛乳の安全性が危惧され始めました。

だからこそ、鈴木牧場の牛乳を!!! その①

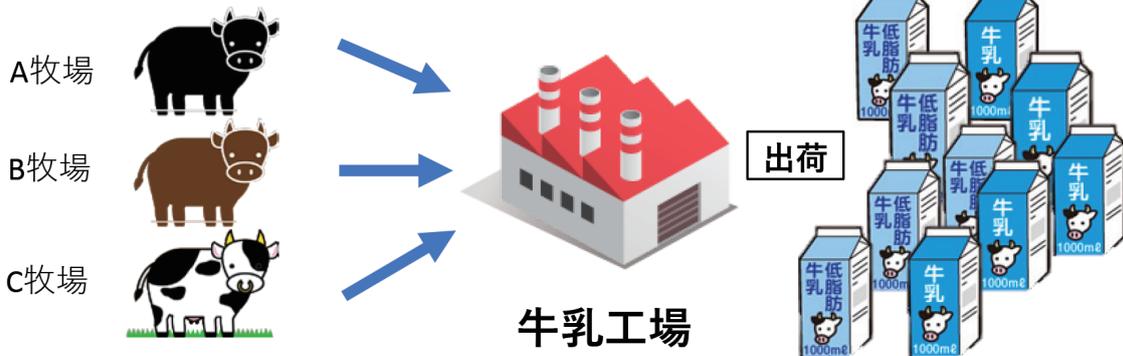
常総生協では、鈴木牧場の「牛も人間も健康で豊かに」をモットーにした「健康な乳は健康な牛から 健康な牛は健康な土作りから」の取り組みを紹介してきました。

牛さんの健康のために、無農薬・除草剤不使用の飼料を自ら栽培して飼料として与えているだけでなく、妊娠しにくい牛さんにはホルモン剤ではなく「お灸」を施し、夏場に牛さんに寄ってくる蚊・ハエ対策には殺虫剤ではなく「ハッカ油」を使うなど、乳への安全に対する取り組みも愛情も一般の酪農とは一線を画します。

だからこそ鈴木牧場の牛乳!!! その②

現在一般に流通している「牛乳」は、複数の酪農家で生産された原乳を集めて加工して、一つのブランドになって出荷されています。

市販の牛乳の流通イメージ



※現在、鈴木牧場の牛乳も他の牛乳と一緒に出荷されています。

生産する過程において一定の基準は設けられていますが、所詮は多くの酪農家で飼育された牛から絞った牛乳であり、ホルモン剤・抗生剤などの投与状況を、私たちは知るすべがありません。しかも地域の牛乳会社がますます、統合・再編・合理化され、巨大化されている現状です。

そんな中、常総生協と鈴木牧場が今回立ち上げた、【牛乳プロジェクト】は、例えば小さな酒蔵が独自に生産したお酒を、独自のブランドとして堂々と世に出す仕組みと同じです。

鈴木牧場の牛乳のイメージ



誰にも干渉されず、「良い牛乳は土作りから」の信念のもと、発酵した甘い香りのエサを食んでのびのび育った牛さんたち。この小さな「乳蔵」から繰り出される至宝の一滴を、ぜひ味わってみてください。

みんなの **せっけんコラム** #18

水は天下の回りもの!

「台所仕事に洗濯、トイレやお風呂。私たちの生活排水は川から海へと流れ出ます。」とは言え、処理場でキレイにしてから流すんだから大丈夫でしょ(^o^)! !

……………これって本当??今回は下水処理について調べてみました。

- ①家庭から出た生活排水は、雨水等と一緒に地下の下水道管を通過して、下水処理場へと運ばれます。
- ②まずは大きなゴミを取り除き、ゴミや砂などを時間をかけて沈めます(この段階ではけっこう臭う)。
- ③次に微生物の槽に水を移します(1mlに数万匹も!)。反応を良くするように空気を送り込みつつ、微生物が水の汚れを分解し、ドロの固まりを作ります。このドロをまた時間をかけて沈め(臭いはもうない)、水は石や砂に通してろ過し、キレイにします。
- ④最後に塩素接触槽を通して消毒し、川に流します。

このあとは……。

- ⑤川の水をくみ上げて、浄水場で土や砂を沈め、様々な装置を使ってろ過をくり返して、塩素で殺菌して、水道水となります。

どうでしょう?

私たちのくらしの水は、ほぼ微生物の働きとろ過で作られています。シンプルすぎて驚きです!ここで問題があります。合成洗剤を含む家庭排水の場合、下水処理場で完全に分解されないまま放流されてしまいます。それで川や海底のヘドロの中の合成洗剤が増えているそうです。合成洗剤の成分が、下水処理槽内にある微生物のはたらきを弱めてしまうからだと考えられます。処理場を通して、合成洗剤の成分は残ってしまうようです。

こうしたことから、キレイな水と環境を守るため、合成洗剤は使いたくないとの考え方が広まっています。石けんなら、川に流しても微生物や魚のエサになってやがてなくなるのです。

例えば、太陽油脂さんの石けんシャンプーやボディソープが、そんな考えに賛同する観光地、温泉地などの様々な施設で使われているそうです。

【施設の例】京都・美山町/世界遺産の岐阜・白川郷/箱根・天山湯治郷/青森・酸ヶ湯温泉
八甲田ホテル 他多数

こんな自然豊かな場所でなくとも思いは同じですよ。私たちも、合成洗剤の使用を控えることで、生活排水をコントロールしたいですね。

(担当 いしかわ@柏市)



イラスト
やまがみあやの



今回のコラム担当 いしかわからのおすすめせっけん商品!!

 ○太陽油脂・パックスナチュロン ボディソープ NO.828、829
子供用にイチオシ。

 ○太陽油脂パックス酸素系漂白剤 No.800、801
洗濯はこのふたつをダブル使いしています。

 ○太陽油脂・パックスお風呂洗い石けん NO.804、805
お風呂洗い担当の小学生もお気に入りです。

 ○太陽油脂 パックスお肌しあわせハンドソープ NO.869、870
ちびっ子用にも普通に良いです、洗面所と台所でも使ってます!

 ○ボーソー油脂・安心生活 洗濯用液体石けん NO.789、790

常総生活協同組合 理事会

ゆるカフェ

生協本部で人と人がつながる場所を開放しています。

第9回「ゆるカフェ」は・・・雪のため延期になった

大人のための絵本セラピーカフェ

テーマは『助け合いー助けてあげたい人 助けてほしい人』

大人になってから絵本を読んでもらった経験はありますか？

絵本は子どもの頃に読んだとか、小さい子に読んであげた経験はきっと どなたにもありますね。

では、大人になってからはいかがでしょうか。



「大人のための絵本セラピー®」は、絵本の力を借りて、
その人のありのままを自然に引き出す大人のための



「ふれあいと、気づきのワークショップ」です。（絵本セラピスト協会代表、岡田達信ブログより抜粋）

目は絵本の絵だけを見て、耳から絵本の文字を聞くという
心地よいひと時をどうぞ～

日時：2018年4月24日(火) 午前10時30分～12時

※なるべく初めからのご参加をお願いします。

ただし、途中参加もできます！

※お子様もご一緒にどうぞ！

※ワークショップのあとは

15時までフリートークタイム♪

講師紹介：松内貴代子（常総生協組合員）
絵本セラピスト協会認定 基礎絵本セラピスト
ドラー心理学 ELM 勇気づけリーダー養成コース修了
実施経歴：牛久市企画講座
土浦ウララまなび一講座
牛久市傾聴ボランティアサークル等



場所：常総生協本部 2階 組合員活動室

参加費：無料（お茶とお菓子をご用意、試食会もあります。）
一緒にほっこりしましょう。

こちらからも→
お申し込みできます



お問い合わせ先：常総生活協同組合 伊藤

茨城県守谷市本町 281 Tel 0297-48-4911 Fax 0297-45-6675

-----キリリ-----

「大人のための絵本セラピーカフェ」に申し込みます（※切；4/16 月曜日）

コース：_____ 班名：_____ 組合員番号：_____

氏名：_____ 参加人数：大人 名 子ども 名 電話番号：_____

※参加自由ですが、資料準備のため、できる限り、事前にお申し込みいただくと助かります。

特別増資の予約増資ができる様になりました♪

鈴木牧場と常総生協とのお付き合いも今年で18年になります。当初は、当時供給していた地場牛乳85名の生産者の中のお一人という形でのお付き合いのスタートでしたが、地元「こんなにすごい酪農家さんがいる」「いずれは酪農家を限定した牛乳の開発をしたい」という思いで始まった地場牛乳の取り組みでした。

酪農は生産者と消費者の直接の接点がなかなか無いのですが、鈴木さんは積極的に常総生協組合員を受け入れて下さり、多くの組合員が産地交流会に参加してきました。産地交流会で飲む「鈴木牧場だけの牛乳」は明らかに別物の味、「鈴木さんだけの牛乳を飲みたい」というのが参加者みんなの感想でした。

酪農家個人で牛乳プラントを準備することは無理があり、「鈴木さんの牛乳」の実現はかないませんでした。そうした中で「鈴木さんだけの原乳」を使った製品を

いただけるようになったのが、2004年のヨーグルトの供給開始でした。当時の組合員にとっては待望の商品でした。2009年には鈴木さんの長年の夢だった「チーズ製造」がスタート。

「良質な牛乳は健康な牛から。健康な牛は良い牧草、そして健全な土から」の取り組みが組合員、また地域の人々に理解され、ヨーグルトとチーズの利用が安定していること、そして息子さん夫婦が酪農経営に参加されたことから、鈴木さんは「牛乳」に踏み出すことを今年決断されました。このような経緯で鈴木さんと常総生協組合員の長年の思いが来年にはようやく形になる予定です。来年6月の総代会にはお披露目できるように準備を進めていきます。



★特別増資のご協力をお願い致します。

生産者が生協の想いをくんで「牛乳開発」に取り組んでくれている事に対し、生産者だけにまかせるのではなく、消費者である私たちも協力して、協同の「商品開発」をしていきたいと思ひます。

- ・ 充填機 250万円
- ・ 洗浄機 75万円
- ・ 牛乳瓶 1ロット代 (1,000本 約12万円)

これらを生協の方で援助するために、**350万円**の特別増資を募る事を目標とします。現在(2018/3/21時点)、で168万円が集まっています。残り182万円を2018年11月4回の期限までに呼びかけを強化していきたいと思ひます。ご協力宜しくお願いします。



【特別増資のご案内&ルール】

1. 期間を1年間(2017年11月4回~2018年11月4回)とし、1口500円の特別増資としていきます。
2. 任意増資とは別に特別増資枠を設け、特別増資運動として行っていきます。
3. 特別増資の募り方は6ケタの注文番号 **500250** で1年間の固定番号として行っていきます。
4. 月末の請求書で任意増資と特別増資は合算された生協への出資金となります。

※組合員からの要望で、「定期的に自動で増資できると良いな~」の声にお応えし、契約商品みたいに特別増資をサイクル的に自動的に増資できるようになりました。下記の申し込み用紙に記入してご提出ください。用紙以外での定期登録はできません。予備は供給担当が持っていますので、必要な方は供給担当までおっしゃって下さい。

-----キリトリ-----

特別増資定期登録申込用紙

コース名 _____ 組合員番号 _____ お名前 _____

希望口数(1口500円) _____ 口 希望サイクル(○を付けて下さい) 毎週 ・ 隔週

希望開始回 _____ 月 _____ 回から希望します。